

## 器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。

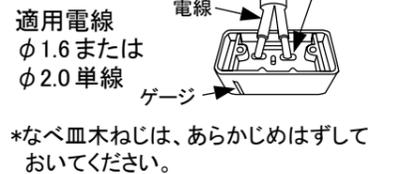


**必ず守る** 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。  
\*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。

## 電気工事店(有資格者)のかたへ

●付属の角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

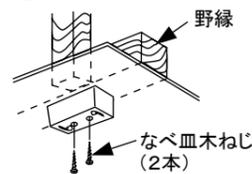


**解除のしかた**

●ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線を引っぱってください。



②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



**必ず守る** 野縁などの補強材のある所に取り付ける。  
\*補強材のないところに取り付けると、器具の落下によるけがの原因となります。

## 各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

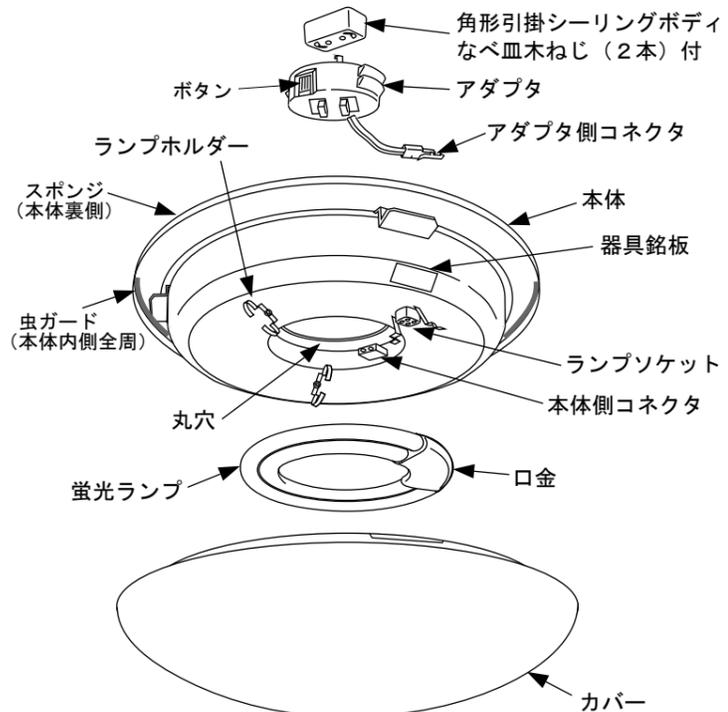
●右図を参照して、各部品をお確かめください。

### 本体を取り付ける前に...

- 蛍光灯などを固定しているテープをはがしてください。
- アダプタに付属の角形引掛シーリングボディがついている場合は、アダプタのボタンを押しながら左方向へ回してはずしてください。

**必ず守る** 蛍光灯の口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。  
\*差し込みが不完全な場合、火災や蛍光灯の落下の原因となります。

**必ず守る** 本体裏側のスポンジや虫ガードを剥がさない。  
\*本体の回転防止や防虫効果を得るために付いています。

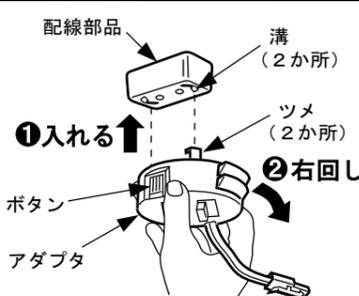


## 器具の取り付けかた

### 1. アダプタの取り付け

電源を切ってください。(壁スイッチをOFFにしてください。)

- ①配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れ、右方向へいっぱい回してください。(ロックが掛かり固定されます。)
- ②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

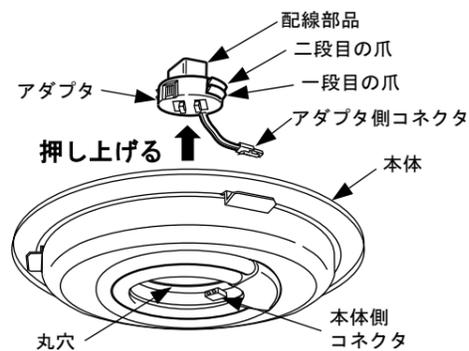


**必ず守る** 取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

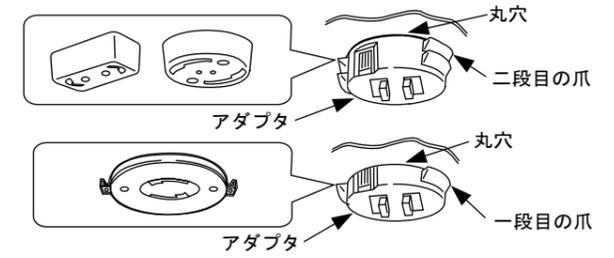
**アダプタのはずしかた** ボタンを押しながら左方向へ回してください。

## 2. 本体の取り付け

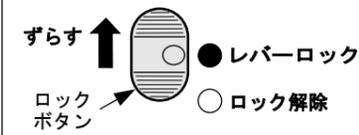
①アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。



**必ず守る** 天井に付いている配線部品により本体の丸穴に掛かる爪の位置が変わるので、必ず下図を参照し適切な爪(両側2ヶ所)が本体に掛かっていることを確認する。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

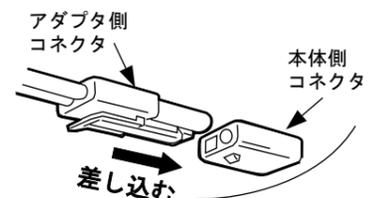


②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。



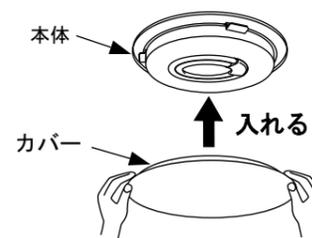
③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続してください。

**禁止** コネクタや電線をむりやり引っぱらない。  
\*電線が断線し、感電、故障の原因となります。



## 3. カバーの取り付け

①本体にカバーを入れてください。



②必ずカチンと音がして止まるまで右へ回してください。



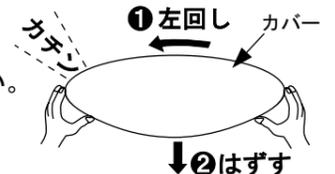
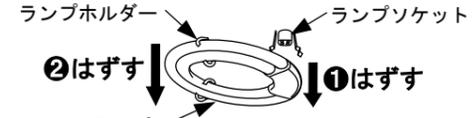
**禁止** カバーを正しく取り付け後は無理な力で回さない。  
\*器具の破損、器具の落下によるけがの原因となります。

**必ず守る** 取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、確実に取り付けられているか確認する。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

## カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

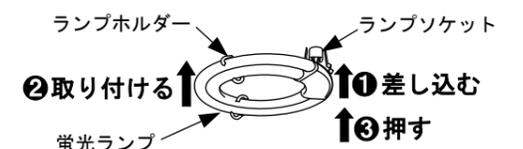
- ①電源を切ってください。(壁スイッチをOFFにしてください。)
- ②カバーを左に回して、取りはずしてください。
- ③蛍光灯をランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。

**接触禁止** 消灯直後の蛍光灯は熱いので触らない。  
\*やけどの原因となります。



- ④交換用蛍光灯の口金をランプソケットに合わせて軽く差し込んだのち、ランプホルダーに取り付け、再び、口金を押してランプソケットに取り付けてください。

**必ず守る** 口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。  
\*接続が不完全な場合、火災の原因となります。



⑤電源を入れて(壁スイッチをONにしてください。)点灯確認をしてください。

\*電源を入れたままでランプ交換をしますと点灯しませんので、電源を切った後、再び電源をいれて点灯確認をしてください。

⑥カバーを取り付けてください。(3ページ、3. カバーの取り付けを参照してください。)